

令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰被表彰者名簿

学校種	学校名	職名	氏名	功績概要
特別支援学校	長崎県立ろう学校	教諭	たがわ ゆき 田川 之	<p>個々の障害特性に配慮し、教科指導の手立ての工夫と多様なコミュニケーション手段による授業実践を行い、他の模範となっている。</p> <p>自立活動部の主任として、自立活動の指導の充実に向け、計画的組織的に取り組み、後任の人材育成にも注力している。現勤校のみならず、長崎県難聴・言語障害教育研究会において難聴学級担当教職員への指導・助言を行う他、長崎県教育センター研修員と連携した研究による難聴学級立ち上げに資するスターブックの制作にも大いに貢献した。また、特別支援教育コーディネーターとして、学校や各関係機関と連携した支援体制を確立し、本県聴覚障害教育の推進に大いに貢献している。</p>
高等学校	長崎県立長崎鶴洋高等学校	教諭	うらかみ かずや 浦上 一也	<p>令和2年度よりドローンを活用した授業展開ができるよう校内及び県教委、各方面と種々調整を行い、課題研究等の探究活動において導入することができた。さらに先進的な取組を行っている企業とも包括連携を締結し、相互に強みを行かした取組を行うとともにドローンを活用する職業についての動機付けを行い、魅力を伝えている。また空中、水中ドローンを活用し、小学生や特別支援学校の子供達向けに開催している「鶴洋教室」では、本校生徒がドローンを使ったプログラミング教育やオンライン水族館を通してふるさと長崎について学習する機会を提供し、地域に貢献している。</p>
特別支援学校	長崎県立佐世保特別支援学校	教諭	ありむら ともえ 有村 朋恵	<p>特別支援教育、とりわけ自立活動の指導について、高い専門性を有し、校内だけでなく広く県外等においても、その実践を発表するなど、自立活動の指導の充実・発展に努めている。その成果の一つとして、第70回全国肢体不自由教育研究協議会において実践発表を行い、他県の学校から本校の取組について情報提供を依頼されるケースが多く見られ、その一つ一つに丁寧に対応している。</p> <p>非常に穏やかで、誠実な人柄であり、同僚や保護者からの信頼が厚い。児童生徒の実態に応じた自立活動の指導について、同僚への助言や支援が適切であり、本校の自立活動の指導力向上に真摯に取り組んでおり、教職員の良きモデルとなっている。</p>
高等学校	長崎県立長崎東高等学校	教諭	なかの ふみひろ 中野 文大	<p>平成26年度から30年度まで長崎県高等学校・特別支援学校教育研究会音楽部会の理事長を務め、令和2年度からは九州高等学校音楽教育研究会の理事長、及び九州音楽教育研究会の理事長を、令和4年度からは長崎県高等学校文化連盟吹奏楽専門部の専門委員長を務めており、県内だけでなく九州における音楽教員の指導者的立場で音楽教育における生徒たちの育成に大きく寄与している。</p> <p>吹奏楽部の顧問として、コンクール等で何度も金賞を受賞するなどの実績がある。また、中高一貫校において、中学生の音楽指導にも力を注いでおり、長崎市内の中学校の音楽教育にも積極的にかわりながら生徒たちの育成に貢献している。</p>

令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰被表彰者名簿

学校種	学校名	職名	氏名	功績概要
高等学校	長崎県立宇久高等学校	教諭	やまぐち けん 山口 健人	<p>小規模校が抱える学習上の課題に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げてきた。教科指導においては、限られた人間関係の中で生じやすいコミュニケーション機会の不足を補うため、県内外の高校とオンラインでつなぎ、他校生徒との交流や学び合いの場を積極的に構築している。また、県教育委員会主催の「新時代の学びを作るワークショップ」に継続して参加し、自らの授業力向上に努め、得た知見を日常の教育実践に反映させている。</p> <p>さらに、COREハイスクール・ネットワーク事業における離島三校を結んだ相互配信授業では、時程の調整や単位認定にかかる課題解決に中心的役割を果たし、三校間の協力体制を構築するなど、リーダーシップを遺憾なく発揮した。これにより、生徒にとって質の高い学習機会が保障される体制づくりに大きく貢献している。</p>
高等学校	長崎県立対馬高等学校	教諭	ほんだ みはる 本田 美春	<p>ユネスコスクール部の顧問として、以下のような活動に対馬市役所・地域・企業と連携して取り組んできた。</p> <p>①絶滅危惧種「ツシマウラボシシジミ（対馬固有の蝶）」の保護活動 ②野生で絶滅した「オウゴンオニユリ」の栽培 ③日韓海岸清掃フェスタや海ごみ交流事業への参加 等</p> <p>また、収集した海ごみを使用して、ツシマウラボシシジミをモチーフとした 巨大クリスマスツリーを福岡大丸の九州探検隊と制作したり、関西万博にて活動内容を発表したり、環境保全活動の啓発にも力を入れた。このような活動が認められ、これまでに多くの団体から表彰を受けている。このように、本校ユネスコスクール部顧問として、地域とともに、対馬市の環境保全活動に多大な貢献をしている。</p>
小学校	大村市立富の原小学校	教諭	せと ようへい 瀬戸 庸平	<p>令和3年度文部科学省指定「学校安全総合支援事業」モデル地域拠点校の防災担当として研究推進に尽力した。自然災害発生時、児童生徒に「生き抜く力」と共に「安全な社会をつくるための知恵と行動力」を身に付けさせるため、「地域防災の中での学校」という視点から家庭、地域、関係機関などとの連携・協働による質の高い学校安全の取組を実践した。</p> <p>この過程で東北の被災地や福岡の先進校へ赴き自分の目で見、生の声を聞くことで感じたことを実践に生かしたり、気象・土木・河川・地域・災害救助の専門家との綿密な打ち合わせを行うなど精力的な働きが見られた。</p>
小学校	壱岐市立石田小学校	養護教諭	きたうら まい 北浦 麻衣	<p>保健指導、保健管理における豊富な知識と高い技能を有し、児童の心身の健全育成に尽力した。児童一人一人の情報や家庭環境を把握し、各担任と密に連携をとりながら児童の学校生活を支えた。</p> <p>保護者や学校三師（校医、学校薬剤師）、関係機関との連携によりメディアに関する指導や生活習慣向上に向けた取組を推進した。また、危機管理研修を定期的実施し、教職員の危機管理対応力の向上に努めた。</p>

令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰被表彰者名簿

学校種	学校名	職名	氏名	功績概要
中学校	新上五島町立魚目中学校	教諭	きりえ かつよ 切江 香津代	保健体育科教師として、体育が得意な子もそうでない子も身体を動かす楽しさを感じ、体育を通して自信を持つことができるように全校生徒にダンスや陸上競技に取り組ませている。陸上競技においては、中総体や駅伝大会の取組を通じて、記録更新という目標を達成させることにより、子どもたちに努力することや心をつなぐことの大切さを感じさせるとともに、次の活動への意欲を駆り立てるなど大きな成果を上げている。 自らの出身地である新上五島町を愛し、そこに暮らす子どもたちの教育に心血を注ぎ、後進の育成に情熱を傾ける姿は他の模範となっている。
小学校	長崎市立伊良林小学校	指導教諭	えはら ゆみ 江原 由美	学習指導及び生徒指導等において、深い教育愛と優れた指導力によって児童の健全な成長・発達に寄与している。また、指導教諭として長崎市内の小・中学校を数多く訪問し、配慮が必要な児童生徒への指導法について教職員に指導・助言し、特別支援教育の推進に貢献している。 校内においても、常に研究と修養に励み、進んで資質や指導力の向上に努め、協働して学校の教育課題の解決に寄与している。
中学校	諫早市立明峰中学校	教諭	くぼ つよし 久保 剛	教科指導において、自ら熱心に学ぶ姿勢があり、先進的な主体的で対話的な英語授業に取り組んでいる。 令和5・6・7年度長崎県教育委員会指定「英語発信力強化 先進モデル校指定事業」においても、各教科の学びと総合的な学習の時間の体験学習との関連を生かし、ふるさとに誇りを持ち、自分の考えや経験を英語で語るなど、グローバル社会において発信できる生徒の育成を図っている。
中学校	長崎市立日見中学校	教諭	よこみち けいいちろう 横道 圭一郎	教務主任として、各種計画等を緻密に立てるとともに、急な事態にも適切に応じられる柔軟性を持ち、何事にも謙虚に、率先して取り組む姿勢は、他の教職員から信頼が厚い。 令和5・6年度長崎県教育委員会指定「小中校が一体となったふるさと教育推進事業」において、本職員の実践力により、本校のふるさと学研究や平和学習を充実させた。また、授業や部活動では生徒に常に愛情を持って接し、生徒や保護者が安心できる存在である。

令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰被表彰者名簿

学校種	学校名	職名	氏名	功績概要
小学校	南島原市立有家小学校	教諭	てらだ ひろこ 寺田 博子	<p>長崎県教育委員会指定「ふるさと教育推進事業」において、研究主任として創造的な研究を実践した。2年間の実践により、ふるさと学「くちのつモデル」カリキュラムを完成させた。本実践は、本県の小中高が一体となったふるさと教育の確かな先行研究事例となると考える。また、地域の活性化にも貢献した。</p> <p>実力を備えながらも謙虚な人格と教育愛にあふれた児童への指導は、大いに評価できる。</p>